

「(都)西九条佐保線」・「鉄道高架」・「新駅設置」の整備促進

【担当省庁】国土交通省

国にお願いすること

京奈和自動車道大和北道路の1次アクセスであり、まちづくりの骨格となる「(都)西九条佐保線整備※1」・「JR関西本線高架化※2」・「新駅設置※3」に必要な予算確保

必要予算を安定的に確保するため、**個別補助金の適用(高規格幹線道路ICアクセス道路に対する補助制度の拡充等)も含め、事業の推進に十分な配当となるよう確実な予算確保**

- ※1 大和北道路(仮称)奈良ICは、高規格道路のICとなり、(都)西九条佐保線は、その1次アクセス道路となる
- ※2 JR鉄道高架化は、分断された地域の一体化、踏切除却(4ヶ所)による安全性の向上を図る
- ※3 新駅は(仮称)奈良ICと近接する位置にあり、交通結節点となる

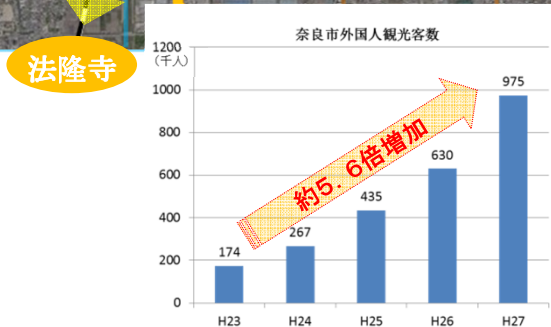
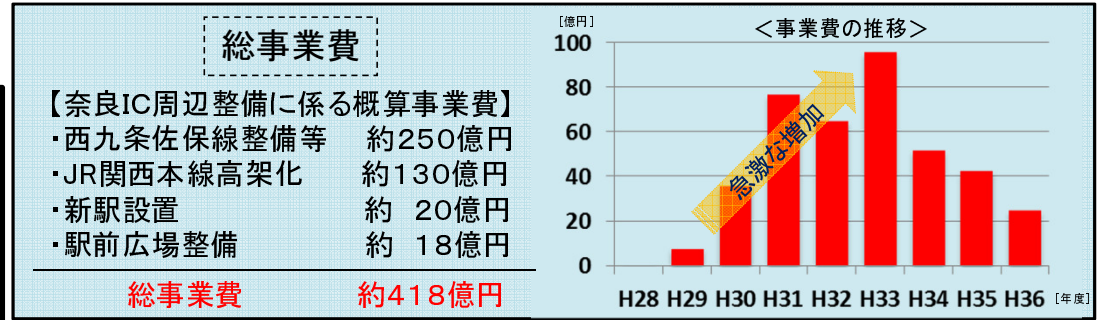
奈良県における取組

■(都)西九条佐保線等の整備により、交通結節機能を活かした拠点形成等による地域活性化とともに、我が国の観光立国の実現に大きく貢献。

〔平成28年7月19日に(都)西九条佐保線等整備、JR関西本線高架化事業に係る事業認可を取得〕

＜我が国の観光立国の実現を図る上での本事業の重要性＞

- (仮称)奈良ICは、世界遺産が集積する奈良市中心部で初となる高規格幹線道路ICであることから、我が国の観光促進上も重要な役割が期待される。この効果発現のためには、**当該ICの唯一の1次アクセス道路である(都)西九条佐保線の整備(ICの開設までに新設)が不可欠。**
- 既存の南北交通軸において渋滞が慢性化する中、今後、(都)西九条佐保線と京奈和自動車道が一体的に機能することにより、奈良市中心部から、**世界遺産等の我が国を代表する観光資源を有する県中南部へのアクセスが大きく向上。**これにより、広域的な周遊観光の発展性が期待される。
- 新駅を核として、**奈良市南部に世界遺産を結ぶ新たな観光ルートを創出させ、経済波及効果の誘導**を図る。
- これまで客室数が全国最下位であった奈良県において、世界最大のホテルチェーンによる我が国初進出となるブランド(JWマリオット)の誘致が決定するなど、**宿泊機能の充実が図られつつある中、これとセットで、宿泊施設までのアクセス性を高め、外国人観光客等の受入環境をしっかりと整えていく必要がある。**



奈良県にある世界遺産	
登録名称	含まれる神社など
古都奈良の文化財	東大寺
	興福寺
	春日大社
	春日山原始林
	元興寺
	薬師寺
法隆寺地域の仏教建造物	唐招提寺
	平城宮跡
	法隆寺
紀伊山地の霊場と参詣道	法起寺
	吉野山
	吉野水分神社
	金峯神社
	金峯山寺
	言水神社
	大峰山寺
大峯奥駈道	
熊野参詣道小辺路	

【県担当部局】まちづくり推進局地域デザイン推進課